

セミのぬけがらから学ぶわたしのSDGs

【担当部署】教育部 東公民館

【団体名】蕨ひがし自然観察クラブ

【提案型】指定テーマ

報告書作成：東公民館

1. 事業の目的

セミの生態を学びその抜け殻の種類、個数の変化を調べることによりクマゼミの増加と地球温暖化の関連を実感し、今できるSDGsを自分事として考えるきっかけを作る。

2. 実施内容

①セミの抜け殻しらべ@蕨市民公園

日 時：令和5年7月15日（土）～9月2日（土） 毎週土曜日 全8回

会 場：蕨市民公園

参加者数：全8回延べ43人

内 容：蕨市民公園のセミの抜け殻を集めて集計し、地球温暖化との関連を調査した。



②蕨市民公園で神秘的なクマゼミの羽化を探そう

日 時：令和5年7月29日（土）

会 場：塚越公園、蕨市民公園

参加者数：親子14組

内 容：クマゼミの羽化の観察を通して、環境問題について考える機会を提供した。

令和5年度 蕨市協働事業報告書

③セミの抜け殻観察教室

日 時：令和5年8月5日（土）

会 場：蕨市立東公民館、塚越公園

参加者数：親子6組

内 容：集めたセミの抜け殻を観察し、種類ごとに分別する方法を学習した。

④クマゼミの鳴き声しらべ

日 時：令和5年7月～8月

会 場：蕨市内

参加者数：6人

内 容：アンケートによるクマゼミの鳴き声調査からクマゼミの拡散状況を調べた。

⑤塚越地区生涯学習フェスティバル展示発表

日 時：令和5年9月30日（土）～10月1日（日）

会 場：蕨市立東公民館

参加者数：2, 373人 セミの抜け殻見分け方ワークショップ 15名

内 容：セミの抜け殻しらべについての展示発表を通して、来場者にクマゼミの変化と気候変動の関連から今できるSDGsを考え、活動への参加を呼び掛けた。

⑥オンライン・セミトーク

日 時：令和5年10月14日（土）

会 場：オンライン（Zoom）

参加者数：25人（内子ども3人）

内 容：セミの抜け殻しらべの調査報告や、セミをテーマにした絵本の読み聞かせなど。

▼セミの抜け殻採集の様子



▼「蕨市民公園で神秘的なクマゼミの羽化を探そう」の様子



3. 役割分担

団体：上記6イベントの企画、立案、実施

市：市の広報媒体を用いた広報、市の施設や備品の貸出、観察場所確保の支援、各事業への活動支援

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 118,013 円（うち蕨市協働事業補助金 100,000 円）

(2) 支出の主な内容：報償費（講師謝礼）、印刷製本費（ちらし・プレゼン資料・アンケート作成）、消耗品費 等

5. 協働による効果

協働事業により多くの参加者、スタッフが集まり、楽しみながら自然に触れ合い、その実体験から環境について考える機会を提供することができた。参加者、スタッフとともに SDGs の理解度があがり自分事として考えるきっかけになった。



6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

長年の活動が評価され蕨市協働事業に選ばれたこと光栄に思います。協働事業により多くの人にクラブの活動を知っていただき体験いただくことが出来ました。手作りの体験型イベントとしたため新規企画で小さなトラブルはありましたが身近なセミの観察を楽しみながら SDGs を自分事として考えるきっかけになったと思います。少し欲張りすぎた点もありますが今回の経験を活かし今後も観察会や講演活動を通じ自然を大切にすることの大切さを伝えていきたいと思います。ご協力いただいた東公民館はじめ蕨市役所関係の皆様、スタッフとして参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

【担当課より】

環境問題について考える機会を提供し、持続可能な社会を目指すため、引き続き各観察会の実施や「塙越地区生涯学習フェスティバル」での展示発表など、「蕨ひがし自然観察クラブ」と協力し、SDGs の啓発等に取り組んでいきたい。

※上記の協働事業の調査結果等の詳細につきましては、

「NHK シチズンラボ セミ大調査 なぜ関西のクマゼミが関東へ？セミのぬけ殻調査 14 年のホーリーさんに聞いた (https://www.nhk.or.jp/citizenlab/semi/semi_interview_02.html)」をご参照ください。